

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度 学校評価 計画

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が研究授業を行い、学力向上への進捗状況を示すことで意識が高まり、授業力の向上を図ることができた。次年度は、課題を共有化し、校内研究を中心に系統的、継続的、反復的に行うことができるよう方法を工夫し、学力向上とともに職員全体の資質向上につながるようしていきたい。 「凡事徹底」を合言葉に、くつろえ、あいさつなど共通した取組を行ってきた。次年度も継続して「月のころ」や教育相談を実施し、いじめ等の未然防止に向け、子どもの小さなサインも見逃さない、アンテナ、意識づくりを図ってきたい。 開かれた学校づくりの推進に向けて、家庭・地域と連携・協力し、子どもの出番・役割・承認の場を数多く設定し、学校・家庭・地域で「心も体も『元気』な子ども」を育成したい。
------------------	--

2 学校教育目標	<p>ただしく・やさしく・たくましく のびゆく西っ子 ～心も体も「元気」な子どもの育成～</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>1 子どもの安心・安全が保障される学校 ～「命」が最優先～ (1) 違いを認め合い、互いに高め合う仲間づくり・学級づくり (2) 安全教育の充実と安全な環境づくり (3) 健康・体力づくりの充実</p> <p>2 個性に寄り添い、きめ細やかな指導を工夫する学校～一人ひとりを大切に～ (1) 特別支援教育の充実 (2) 個に応じた授業の充実 (3) ICT活用教育の充実</p> <p>3 地域と共にあり、「主体的・対話的で深い学び」を実現する学校～授業力アップ～ (1) 地域学校協働活動の充実 (2) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 (3) 校内研究・職員研修の充実</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者		
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	最終評価			学校関係者評価	
	取組内容	成果指標(数値目標)				達成度(評価)	実施結果		評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による課題の共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成したと自己評価する教師90%以上	・教職員間でマイプランの共有化と校内研修等による取組の促進							学力向上コーディネーター
	○自分の考えを書く活動と伝える活動の充実(自分の考えの可視化)	○児童アンケート「書くことや伝えることは上手になっていると思いますか。」の質問に対して、A評価を40%以上、A・B評価で80%以上 ○児童アンケート「勉強はわかった」で、A評価で40%以上、A・B評価で90%以上	・児童が自分の考えを表現する手立てとして、式・文・図・学習用語・記号等を使った書き表し方、多様な表現方法の指導の工夫 ・ICT等を活用して、自分の考えを表現する場の設定の工夫 ・理由や根拠(条件)を意識して、「読む・書く・話す」ことができるような学習活動の工夫							学力向上コーディネーター 研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○児童アンケート「なかよく過ごす」で、A・B評価で80%以上	・子ども同士のかかわりを深める活動の工夫 ・自己有用感を高める「出番・役割・承認」の工夫 ・たてわり活動の充実							特活部
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○月1回いじめに関するアンケート「月のころ」で、「学校が楽しい」の評価が80%以上 ○教師アンケート、「道徳の授業の充実」でA・B評価90%以上	・月1回いじめに関するアンケート「月のころ」を実施と結果を共有、迅速な指導 ・道徳の授業の充実 ・定期的な情報交換による子どもの共通理解(毎週水曜日「教育相談連絡会」)→特支項目から移動 ・SC.SSWと情報共有を行い、連携を図る。							教育相談担当 人権・同和教育担当 道徳教育推進 教員
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動(志を高める教育)	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童(小学6年生)でA・B評価を80%以上	・集団の中で役立つ喜びや自分への自信をはぐくみ、未来への具体的な夢や目標がもてる活動の工夫 ・総合的な学習の授業でのキャリア教育の取組							
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする ○児童アンケート「手洗いをきちんとできた」で、A評価90%以上 ○児童アンケート「地震や火事、大雨などの災害に備え、命を守るための行動を知っている。」で、A・B評価90%以上	・交通教室の実施、学級活動・道徳の授業の工夫 ・「手洗いタイム」とマスクの着用について視覚化、声かけ、臨場指導の徹底 ・様々な想定避難訓練の工夫、各教科等での指導の工夫							保健体育部 道徳教育推進 教員 生徒指導部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。(月45時間、年間360時間以内)	・定時退勤日の設定 ・会議資料の事前配布と提案時間の設定 ・校務シェア掲示板による連絡事項伝達時間の短縮 ・積極的な未然防止指導と保護者への確実な説明等、迅速な組織的な対応							管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者		
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	最終評価			学校関係者評価	
	取組内容	成果指標(数値目標)				達成度(評価)	実施結果		評価	意見や提言
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○教員アンケート「特別支援に関する専門性が向上した」でA・B評価を90%以上	・実効的な支援体制づくりの強化 ・特別支援教育・UD教育の視点での教室環境づくりと指導の工夫 ・保護者や関係機関、専門家との連携強化							特別支援学級 担任
○地域との連携の充実	○地域学校協働活動の充実	○教員アンケート「地域と連携した学習」で、A・B評価を90%以上	・地域の「ひと・もの・こと」を生かした取り組み(学習)と地域行事への児童の参加							教頭 教務主任
○家庭との連携の充実	○家庭におけるオンラインゲーム・SNS等に関する「管理・確認・話し合い」の強化	○児童アンケート「テレビやゲーム、インターネットのやくそくを作り、守っている。」で、A・B評価を80%以上	・オンラインゲーム・SNS等の指導の工夫 ・学校だより、学級だより等による家庭へのSNS等に関する「管理・確認・話し合い」の啓発 ・情報モラル教室(4年生以上・保護者)を行うことによる、よりよい情報活用について考える機会の設定							生徒指導部

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p>
----------------	-------------------